

歯原性腫瘍および唾液腺腫瘍における Wnt シグナル関連因子の発現と 腫瘍形質の関連性に関する研究

1. 臨床研究について

岡山大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。このような診断や治療の改善の試みを一般に「臨床研究」といいます。その一つとして、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学（腫瘍病理）分野では、現在歯原性腫瘍（歯牙腫およびエナメル上皮腫）および唾液腺腫瘍（多形腺腫および腺様嚢胞癌）の患者さんを対象として、「歯原性腫瘍および唾液腺腫瘍における Wnt シグナル関連因子の発現と腫瘍形質の関連性に関する研究」に関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局臨床研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2026年6月30日までです。

2. 研究の目的や意義について

口腔内では扁平上皮癌の他に歯原性腫瘍（歯牙腫およびエナメル上皮腫）および唾液腺腫瘍（多形腺腫および腺様嚢胞癌）が高頻度に発生しますが、その発生メカニズムは明らかになっていません。現在はそれらの腫瘍に対しては、主に手術により切除が行われています。

一般的に腫瘍細胞内では特定の細胞内シグナル伝達が異常活性化しており、その活性化が病態の発生および腫瘍形質や悪性度に関与していることが知られています。本研究では、歯原性腫瘍（歯牙腫およびエナメル上皮腫）および唾液腺腫瘍（多形腺腫および腺様嚢胞癌）における細胞内シグナル伝達の Wnt シグナルが発生およびその腫瘍形質や悪性度へ果たす役割について明らかにすることを目的としています。その結果、病気になる仕組みを明らかになることにより、新しい治療法を開発することを目標としています。

3. 研究の対象者について

九州大学病院顎口腔外科もしくは顔面口腔外科において2007年1月1日から本研究許可日までに歯牙腫、エナメル上皮腫、多形腺腫および腺様嚢胞癌の診断で生検または切除術を受けられた方の切除組織のうち、九州大学歯学研究院口腔病理学分野にて確定診断された220名を対象にします。加えて、2007年1月1日から許可日までに九州大学病院顎口腔外科もしくは顔面口腔外科で組織生検または切除手術を行った患者で、病理組織学的所見から歯牙腫、エナメル上皮腫、多形腺腫および腺様嚢胞癌と診断されなかった50名を対照

群とします。さらに、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯薬学専攻医学系講座病理学（腫瘍病理）分野にて、2007年1月1日から本研究許可日までに歯牙腫、エナメル上皮腫、多形腺腫および腺様嚢胞癌と確定診断された60名をあわせて、計330名を対象にします。

4. 研究の方法について

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。また、保管されている病理組織検体を用います。病理組織検体から、対象となるタンパク質、また、それらの遺伝子の解析を行います。解析した結果と臨床的な情報（病歴）を統計学的に比較し、検索したタンパク質や遺伝子が治療標的として有用か、検討します。

〔取得する情報〕

年齢、性別、病変の部位、予後、画像所見（レントゲン、CT）

共同研究機関の研究対象者；岡山大学病理学（腫瘍病理）にて診療の過程で得られた試料（病理組織検体）・情報（年齢・性別・採取部位・自覚症状）についても、郵送、またはメールにて収集し、詳しい解析を行う予定です。

5. 個人情報の取扱いについて

研究対象者の病理組織標本、カルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、九州大学大学院歯学研究院口腔病理学分野内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院歯学研究院口腔病理学研究分野・教授・清島 保の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

6. 試料や情報の保管等について

〔試料について〕

この研究において得られた研究対象者の病理組織検体由来の試料（免疫染色切片や抽出した遺伝子）は、原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学歯学研究院口腔病理学研究分野において同分野教授・清島 保の責任の下、5年間保存した後、研

究用の番号等を消去し、廃棄します。

〔情報について〕

この研究において得られた研究対象者のカルテ情報等は、原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院歯学研究院口腔病理学分野において同分野教授・清島 保の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた研究対象者の試料や情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

7. 利益相反について

岡山大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのための資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかという疑問が生じる事があります。そのような問題に対して岡山大学では「岡山大学医療系部局臨床研究における利益相反マネジメント委員会内規」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費は文部科学省科学研究費および部局等運用経費であり、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

岡山大学医療系部局臨床研究における利益相反マネジメント委員会
(窓口：岡山大学病院事務部 研究推進課 電話：086-235-6503)

8. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

9. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学歯学研究院口腔病理学分野
(分野名等)	九州大学病院顎口腔外科および顔面口腔外科
研究責任者	九州大学歯学研究院口腔病理学研究分野・教授・清島 保
研究分担者	九州大学歯学研究院顎顔面腫瘍制御学分野・教授・川野 真太郎 九州大学歯学研究院口腔病理学分野・准教授・藤井 慎介 九州大学病院顎口腔外科・助教・長谷川 佳那 九州大学病院顎口腔外科・助教・三上 友理恵
共同研究機関	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯薬学専攻医学系講座病理学 (腫瘍病理) 分野・教授・山元 英崇 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯薬学専攻医学系講座病理学 (腫瘍病理) 分野・助教・小野早和子

10. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、事務局までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	担当者：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病理学(腫瘍病理) 分野・ 助教・小野 早和子 連絡先：〔TEL〕 086-235-7150 〔FAX〕 086-235-7156 メールアドレス：pwr662ov@s.okayama-u.ac.jp
---------------	--